

- 2, 3 雪花菜くらぶと社会福祉法人との
地域福祉を支える連携事業
- 4 第 16 回総会報告
起業講座開催 10/18
ワーカーズ・コレクティブを作ろう！

誰でも健康で文化的な生活を営む権利を持っている

埼玉県アスポート事業

県内ワーカーズ・コレクティブが就労支援に協力

増える生活困窮者

今や高齢者世帯の 40%を超える世帯が年収 200 万円以下であるといえます。また子どもの相対的貧困率（平均所得の半分を下回る世帯で暮らす 18 歳未満）は、16.3%、つまり 6 人に一人が経済的な生活課題を抱え、生活困窮者は、増加の一途をたどっています。

本人に責任のない事情で

国民の権利が侵害される問題

経済的理由により様々な社会的排除を受ける状況は、憲法 25 条で国民誰もが保障されている「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を侵害されていることになります。

障害や生育環境、ひとり親など本人に責任のない事情を無視して自己責任論をふりかざすのではなく、社会全体で問題解決の道を探ることが求められています。

埼玉県の取組み「アスポート」

埼玉県では、生活保護受給者チャレンジ支援事業（アスポート）で、住宅支援・就労支援・学習支援のサービスを県と民間団体がともに提供することで、生活保護世帯の自立支援を行っています。住宅支援は、住宅を失った人にアパートなどを紹介し生活を立て直す支援、就労支援は、働くことができる人に職業訓練から就職後のフォローまでの支援、学習支援は、子どもたちの高校進学勉強の支援し、「貧困の連鎖」を断ち切る取組です。



「てとて」居場所事業



「青いそら」厨房

就労体験を通して取り戻してもらう自信

三郷市でコミュニティレストランを営む「青いそら」と、北本市の居場所事業所「てとて」の 2 つのワーカーズ・コレクティブは、アスポートの就労支援を行うワーカーズコープ（労働者協同組合）と連携し、就労体験の事業所として埼玉県に登録し、就労体験希望者を受け入れています。本来ワーカーズ・コレクティブは多様な人を迎え入れて運営する社会的包摂を実践する組織です。さまざまな理由から生活保護を受給せざるを得なくなった方の、就労と自立のきっかけとなることをめざします。

2015 年度、国の制度として生活困窮者自立支援法が施行されます。生活保護受給者をどのように減らしていくのか、民間（NPO など）との連携をどのように進めるかが課題となっています。その中でワーカーズ・コレクティブの役割が期待されているところです。

雪花菜（おから）くらぶと社会福祉法人一粒との、地域福祉を支える連携事業
サービス付き高齢者住宅「風の街」の取り組み

最後まで人生の主役として生きるための地域福祉と、 食をとおして生活の質を支えるワーカーズ

施設で安全ではなく、 まち中の地域のきずなで 安心を

鴻巣市吹上富士見、吹上団地の中にある元スーパーマーケットの跡地に 2014 年 4 月「風の街」が誕生しました。

社会福祉法人一粒の理事長関博人氏は、埼玉県住宅供給公社のコンペに「吹上富士見地域共生プラザ構想」を応募し採用されました。吹上団地の住民の 80% が 60 歳以上と高齢化の進行が著しく、ショッピングセンターの撤退による買い物困難者をはじめとした介護を必要とする人々が確実に増えている地域です。住民の自助努力だけでは難しい問題に対し、住民同士の共生社会を築く拠点となる場をつくるという「風の街」の構想でした。

「高齢になったら施設入居で安全を得るだけでなく、それまでの暮らしを変えずに、地域の人々の支援を受けながらまち中でふつうの暮らしを送ることができる仕組みが必要ではないか」と一粒の関理事長は言います。

福祉の里で 誰もが役割と仕事を 担う

社会福祉法人一粒は、障がい者福祉の里づくりを 2000 年に発足し、「入所施設ではなく家をつくろう。ここに暮らす誰もが仕事と役割を」をテーマにした施設を吹上に作りました。障がいがあっても人として役割や仕事を担い、農業など多様な作業に障がい者本人がかかわりながら地域の人々との関係性を紡いできました。吹上団地にも、遠くに高齢者施設入所があるので、まちの中で地域の人々の絆を再生し、支えあうことにより誰もが生きられる社会づくりにつなげようという構想があったのです。



関理事長(中央)と雪花菜くらぶのメンバー

雪花菜くらぶと 社会福祉法人一粒 の出会い

地域に細々とながらお弁当の提供を行っていた雪花菜くらぶは、2011 年 3 月に起きた震災の復興支援に東北に行き、被災した人々に手作りのお弁当や、温かい汁物を提供しました。機材をたくさん積んで被災地に向かう雪花菜くらぶのサポートをかって出たのが一粒でした。先の見えない不安な生活を余儀なくされていた被災地の人々が、雪花菜くらぶの提供する食事の温かさに感激し、元気が出たと聞き、お互いに食の大切さに改めて気づきました。「風の街」の構想の中でも連携していくことが話し合われました。

おいしい食事は人の心を優しくし、働く喜び、生きる喜びにつながります。特に高齢期の正しい食事は生活の質を上げることに繋がります。



野菜たっぷりのメニュー

雪花菜くらぶ日々奮闘

雪花菜の朝は早いです。19 歳のみさちゃんも、私が 6 時に入ると朝の掃除など調理前の準備を終わらせています。

みさちゃんはメンバーの親戚のお子さんで、高校を卒業してしばらく家にいました。面接をした時は、表情も無いお嬢さんでした。メンバーの中には自分たちには荷が重いとを感じる仲間もいました。けれど私は、自分がヘルパー講座の実習先で見た殺伐とした施設の内情とは違う、仲間と助け合いながら心のこもった仕事ができるワーカーズなら、一緒にできるはずだと思ったのです。

最初は約束の時間が守れなかったり、自分で考えることをしなかったり、包丁の持ち方も一から教えないといけなかったりしました。けれども人の言うことを聞く態度が素直でよく吸収していきました。「もうみさちゃんは何でもできるから頼んでいいよ」ときっぱり宣言した頃から本人が変わり、周囲もその成長に驚くようになったと思います。

「安全性確かな食材、地域の農産物の使用、手作りの食事つき」 が一粒の事業の強みに！

『風の街』の入居者で、3 食雪花菜くらぶの食事を利用し、降圧剤の服用の必要がなくなった方や、糖尿病を患っていた人で、糖尿の数値が下がるなどの効果があった人がおられるそうです。1 日の食事の塩分量 6g ほどをキープした雪花菜くらぶの食づくりは『風の街』のもう一つの強みになっています。

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会の支援

日に数十食のお弁当をつくっていた雪花菜くらぶは、1 日 3 食、365 日の食の提供をするサービス付き高齢者住宅の食づくりに着手するには大きなハードルがありました。組織体制の改革も必要でした。契約の在り方、必要な厨房の機材、高齢者の食づくりの基本など一から学ぶ必要がありました。

連合会に集う食ワーカーズのノウハウを生かした事業支援を受け、事業拡大を果たしました。連合組織の必要性に改めて気付く機会でもありました。



厨房にて



今では雪花菜の中で一番の働き者で、早朝や遅い時間などに入ってくれて、一人で作業ができます。半年前とは別人のようなみさちゃんを見ると、幸せな気持ちになります。

今雪花菜が行っている、利用者さんの体を気遣いながらおいしい食事を作るこだわりは、利益を追求する企業ではできないと感じます。1 日の塩分量 6g を目標にした食事をおいしく作るには、良い食材を使い手間をかけて調理する必要があるのです。

けれど利益は追求しなくても、働くに見合った人件費は確保しなければなりません。新しい事業は始まってまだ 4 か月しかたっていません。今の大変さが希望へと変わる日が来ることを信じて、仲間と進んでいこうと思います。(岩澤ハル)

「風の街」の機能

●サービス付き高齢者住宅

そこに暮らす方々が最後まで安心して暮らしができるようにサポートを用意しつつ、入居者の自立を損なわないように心がけています。

安否確認、緊急時の対応、介護保険はもちろんのこと、保険外のサービスの用意もされています。

●デイサービス

デイでの過ごし方は利用者が主役です。生きがいを見つけられるメニューを取りそろえ、その日の過ごし方は、利用者自ら選ぶことになっていて、利用者目線のスタッフの工夫が光ります。入浴設備やフロアにも本人を主役とする様々な工夫があります。

●生活相談センター

●家庭保育室

などの施設も備えています。



賃貸住宅入口とキッチン



デイにはゲーム感覚で利用者のやる気を誘う工夫が

第16回定期総会報告

支え合い、共に働く成熟した社会づくり



7月5日定期総会が開催され、33 ワーカーズ、85名の出席のなか議案の検討、承認が行われました。会長、副会長が交代しました。



元川ひとみ会長と長谷川里津副会長

2014年度方針

1. 組織 (1) ワーカーズ運動を広げ、5つのワーカーズを作ります。(2) 会員ワーカーズへの事業支援を行います。(3) 多様な人々との働く場作りの支援を行います。(4) WN Jへ参画し課題解決をすすめます。
2. 運営体制 運営委員会、エリア会議、部門会議で課題解決をすすめます。事務局をピアズねっとに委託します。
3. 研修 初心者・リーダー研修、多様な人と働くための公的制度学習会など開催します。
4. 共同仕入れ 安定供給を実現します。
5. 広報 内部外部向けに機関紙を発行します。
6. フォーラム 開催します。
7. 法制化 学習会を開催し、法制化市民会議埼玉に参画し、運動をすすめます。
8. 協同組合地域社会づくり (1) 生活クラブ運動グループと協同します。(2) 自治体、企業、NPO、協同組合、福祉団体と連携します。

多様な人たちと共につくる働き方

総会で承認された第4次中期計画(2014～2016)は「多様性と包摂性を自覚し、成熟した社会の礎を築こう」をテーマとしています。現在社会的に障がい者や生活困窮者など、これまで保護の対象とされてきた方たちが自ら働く機会を得て自立する方向に動いています。

互いに助け合う相互扶助の精神を持つ私達ワーカーズは、多様な人たちとともに働く場を作ることができ、いくつかのワーカーズは実践もしています。仲間と話し合い、簡単には働けない人の一人ひとりにあった工夫をし、その特性を学ぶなど、多様な人との多様な働き方を少しずつ作り上げていきます。成熟した社会は、一人ひとりの中で育てられていきます。

起業講座開催

10/18 ラフレさいたま

生活クラブグループ福祉事業交流会 in 埼玉
オプション企画

ワーカーズ・コレクティブを作ろう！



福祉をテーマにしたワーカーズの作り方を、ワークショップ形式で学ぶ講座が開かれました。

参加された37名は、4,5人のグループに分かれ8つのテーブルにつき、まず全員でワーカーズ・コレクティブとはという座学を学びました。

その後グループで6W3Hの9つの質問に、仲間とともに答えながら、自分たちの理想とする地域福祉を起業という形で実現する方法を学びました。

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 情報誌 WAVE57

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋 1-5-3 ひゅうまんポスト内

電話/FAX 048-844-0221

E-mail saitama.waakore@gmail.com

<http://saitama-workers.com/>

編集制作 ワーカーズ・コレクティブ ピアズねっと

1部 ￥100